

関東大学男子3部・不祥事件発生とその措置について

去る4月27日(日)と5月3日(土)の両日、関東大学バレーボール男子3部リーグ戦が、東京学芸大学体育館において行われた際、桜美林大学と東洋大学の一部選手による不祥事件が発生しました。関東大学バレーボール連盟(以下学連という)は、5月7日に東京学芸大学より報告を受け、万一にも選手が関与していないか調査に入りましたところ、両大学の一部選手が関与していることが判明したため、直ちに学連緊急調査委員会(調査委員長は森基安学連理事長)を立ち上げ、更に慎重に調査を進めました。同委員会の調査内容は、5月19日の学連緊急理事会に報告され、当理事会にて慎重に協議の結果、両大学に対する処分や今後のリーグ戦のスケジュール等を、以下の通り決定しましたのでお知らせします。学連と致しましては、過去にない不祥事件の発生は、誠に遺憾の極みであります。ファンの皆様を初め関係各位に対し深くお詫び申し上げますと共に、今後この様なことが発生しないよう十分注意致します。なお学連としては、5月21日に、会長(市川伊三夫)が東京学芸大学に赴き、深く陳謝致しました。不祥事には年少者も含まれておりますので、具体的な事件の内容につきまして、学連としては、この程度に止めさせていただきます。

【桜美林大学に対する処分】

- (1) 本春季リーグ戦の下位リーグの3試合を没収試合とし3部最下位とする。
- (2) 本年5月20日から1年間一切の対外試合に出場禁止の懲戒処分とする。
- (3) 来年5月に意識改革の状況を見極め東日本インカレ以降の出場を認める。

【東洋大学に対する処分】

- (1) <監督> 部員に対する監督不行き届きに対し、嚴重注意処分とする。
- (2) <部員1名> 本年5月20日~本年12月末迄の間、懲戒処分(一切の対外試合に出場禁止)とする。

【処分のよる影響】

- (1) 桜美林大学が最下位となるため、3部下位の4大学の順位が変更となる。
- (2) この結果、3部~4部間の入替戦への出場大学や対戦相手が変更になる。
- (3) 桜美林大学は、4部との入替戦が不戦敗となり4部1位に自動降格する。
- (4) 桜美林大学は、本年秋季と来年春季のリーグ戦も全試合が不戦敗となる。

2008年5月23日

関東大学バレーボール連盟